

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公表番号】特表 2007-505042(P2007-505042A)

【公表日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報 2007-009

【出願番号】特願 2006-525536(P2006-525536)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/00 (2006.01)

A 6 1 K 36/18 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 K 31/337 (2006.01)

A 6 1 K 31/675 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 W

A 6 1 K 35/78 C

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 0 7

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 31/337

A 6 1 K 31/675

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抗癌治療のための組成物であって、該組成物は：

Ganoderma lucidum の抽出物、Salvia miltiorrhiza の抽出物、および Scutellaria barbata の抽出物のうちの 2 つ以上の予防治療有効量を含み、ここで、各抽出物は、約 10 重量%～約 50 重量%を構成し、該組成物は癌を発生する危険性のある個体への投与に適する、組成物。

【請求項 2】

前記抽出物が、熱水抽出物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記抽出物が、有機抽出物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記抽出物が、酢酸エチル抽出物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記抽出物が、抗炎症、免疫増強、TNF- を放出するためのリンパ球の誘発、および細胞増殖の促進からなる群より選択される少なくとも 1 つの特性を示す、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記抗炎症活性が、COX - 1 よりも COX - 2 を選択的に阻害する、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記癌が、肺癌である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記癌が、子宮頸癌である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

さらに、Camellia sinensis (緑茶) の抽出物を含有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

抗癌治療のための組成物であって、該組成物は：

(a) 治療有効量のGanoderma lucidumの抽出物、Salvia miltiorrhizaの抽出物、およびScutellaria barbataの抽出物のうちの2つ以上；および

(b) 治療有効量の少なくとも 1 つの化学療法因子

を含み、ここで、各抽出物は、約 10 重量% ~ 約 50 重量%を構成し、該組成物は、癌の初期段階の個体への投与に適する、組成物。

【請求項 11】

前記抽出物が、熱水抽出物である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記抽出物が、有機抽出物である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記抽出物が、酢酸エチル抽出物である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記抽出物が、抗炎症、免疫増強、TNF- を放出するためのリンパ球の誘発、および細胞増殖の促進からなる群より選択される少なくとも 1 種の特性を示す、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記抗炎症活性が、COX - 1 よりも COX - 2 を選択的に阻害する、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

さらに放射線治療、化学療法、手術、免疫療法、光ダイナミック療法、およびこれらの組み合わせからなる群より選択される 1 種以上の治療有効量の抗癌処置を含む、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記癌が、肺癌、小細胞肺癌、および非小細胞肺癌からなる群より選択される、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記癌が、子宮頸癌である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 19】

前記癌が、前立腺癌である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記化学療法因子が、ゲムシタビンおよびメトトレキサートからなる群より選択される、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 21】

前記化学療法因子が、微小管重合を乱す、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 22】

前記化学療法因子が、パクリタキセル、ドセタキセル、エトポシド、ビンクリスチン、ビンブラスチン、およびビノレルビンからなる群より選択される、請求項 21 に記載の組成物。

【請求項 23】

前記化学療法因子は、シクロホスファミド、4 - ヒドロペルオキシシクロホスファミド、チオテパ、タキソール、ドキシソルピシン、ダウノルピシンおよびネオカルジノスタチンからなる群より選択される、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 24】

さらに、*Camellia sinensis* (緑茶) の抽出物を含む、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 25】

抗癌治療のための組成物であって、該組成物は：

(a) 各々該組成物の約 10 重量% ~ 約 50 重量%を構成する、治療有効量の *Ganoderma lucidum* の抽出物、*Salvia miltiorrhiza* の抽出物、および *Scutellaria barbata* の抽出物のうちの 2 つ以上；

(b) 治療有効量の少なくとも 1 つの化学療法因子；および

(c) 治療有効量の *Hippophae rhamnoides* の抽出物を含み、該組成物は、癌の初期段階の個体への投与に適する、組成物。

【請求項 26】

前記抽出物が、熱水抽出物である、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 27】

前記抽出物が、酢酸エチル抽出物である、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 28】

前記抽出物が、有機抽出物である、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 29】

前記抽出物が、抗炎症、免疫増強、TNF - を放出するためのリンパ球の誘発、および細胞増殖の促進からなる群より選択される少なくとも 1 つの特性を示す、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 30】

前記抗炎症活性が、COX - 1 よりも COX - 2 を選択的に阻害する、請求項 29 に記載の組成物。

【請求項 31】

前記 *Hippophae rhamnoides* の抽出物が、熱水抽出物である、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 32】

さらに放射線治療、化学療法、手術、免疫療法、光ダイナミック療法、およびこれらの組み合わせからなる群より選択される 1 種以上の治療有効量の抗癌処置を含む、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 33】

前記癌が、肺癌である、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 34】

前記癌が、子宮頸癌である、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 35】

前記癌が、前立腺癌である、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 36】

前記化学療法因子が、ゲムシタビンおよびメトトレキサートからなる群より選択される、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 37】

前記化学療法因子が、微小管重合を乱す、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 38】

前記化学療法因子が、パクリタキセル、ドセタキセル、エトポシド、ビンクリスチン、ビンブラスチン、およびビノレルビンからなる群より選択される、請求項 37 に記載の組成物。

【請求項 39】

前記化学療法因子が、シクロホスファミド、4 - ヒドロペルオキシシクロホスファミド、チオテパ、タキソール、ドキソルビシン、ダウノルビシンおよびネオカルジノスタインからなる群より選択される、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 40】

さらに、*Camellia sinensis* (緑茶) の抽出物を含む、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 41】

抗癌組成物であって、該組成物は、*Ganoderma lucidum* の抽出物、*Salvia miltiorrhiza* の抽出物、および *Scutellaria barbata* の抽出物のうちの 2 つ以上を含有し、各抽出物は、治療有効量を含有する、組成物。

【請求項 42】

前記抽出物が、抗炎症、免疫増強、TNF - を放出するためのリンパ球の誘発、および細胞増殖の促進からなる群より選択される少なくとも 1 つの特性を示す、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 43】

前記抗炎症活性が、COX - 1 よりも COX - 2 を選択的に阻害する、請求項 42 に記載の組成物。

【請求項 44】

さらに、治療有効量の少なくとも 1 つの化学療法因子を含有する、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 45】

さらに、治療有効量の少なくとも 1 つの化学療法因子および治療有効量の *Hippophae rhamnoides* の抽出物を含有する、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 46】

前記化学療法因子が、微小管重合を乱す、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 47】

前記化学療法因子が、パクリタキセル、ドセタキセル、エトポシド、ビンクリスチン、ビンブラスチン、およびビノレルビンからなる群より選択される、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 48】

前記化学療法因子が、ゲムシタビンおよびメトトレキサートからなる群より選択される、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 49】

前記化学療法因子が、シクロホスファミド、4 - ヒドロペルオキシシクロホスファミド、チオテパ、タキソール、ドキソルビシン、ダウノルビシンおよびネオカルジノスタチンからなる群より選択される、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 50】

各抽出物が、およそ等量で使用される、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 51】

各抽出物が、熱水抽出物である、請求項 5 0 に記載の組成物。

【請求項 5 2】

各抽出物が、有機抽出物である、請求項 5 0 に記載の組成物。

【請求項 5 3】

各抽出物は、酢酸エチル抽出物である、請求項 5 2 に記載の組成物。